



2023年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2023年全日本学生シングルハンドレガッタ

2023年8月31日
全日本学生ヨット連盟・中部学生ヨット連盟

競技説明会



大会組織

大会委員会

大会委員長

古川 裕之

レース委員会

レース委員長

石倉 俊宏

プロテスト委員長

小野内健太

テクニカル委員長

杉浦 博之

Beach Team

総務部長

中西 真紀

記録・運航部長

坂井 正和



レース委員会からのメッセージ



レース公示・帆走指示書の変更

レース公示の変更（至近で変更した内容についてのみ説明）

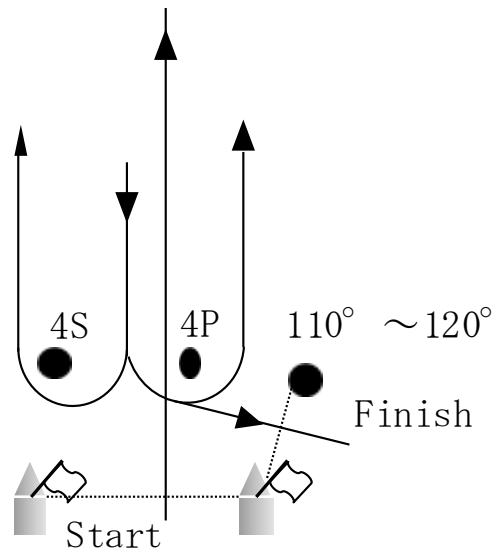
公示 8. 日程

8.1 本大会の日程は以下のとおりとする。

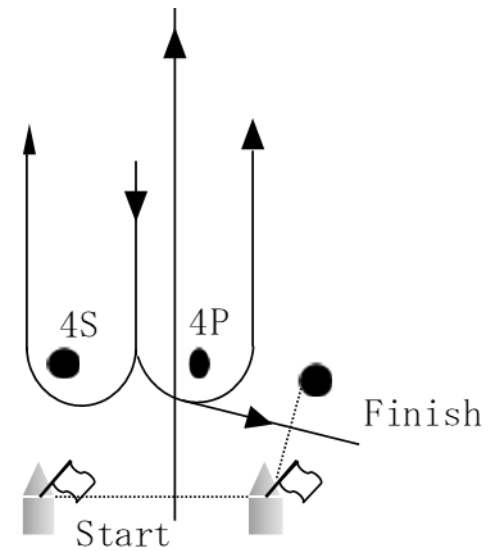
9月1日（金） ブリーフィング **9:00 ~ 9:15**

公示 添付図 C 「コース図」 シングルハンドレガッタ

変更前



変更後





レース公示・帆走指示書の変更

帆走指示書の変更（至近で変更した内容についてのみ説明）

現在変更はありません



公示8 日程に対するガイダンス

注意：方針については、抗議の根拠とはならない

- 8.4 計画しているレースを完了させるため、当日までの計画に対して1レースを越えない範囲でレースを前倒しすることがある。
⇒翌日の天候でレースが実施できない可能性がある場合などは、前倒しでレースを実施する可能性があります。その場合は、朝のブリーフィングでお伝えします
- 8.5 9月3日は12:31以降に予告信号は発せられない。
⇒9月3日のスタートのタイム・リミットは12:31:00です。
タイム・リミットの制約により、470.スナイプ.シングルハンド単独のレース実施もありません。

9月1日、2日のレースについては、15:01以降のスタートは行わない方針でいます。但し、レースの進捗によっては、この時間を超えてレースを行う可能性があります。



運営艇

艇の種類	識別標識
レース委員会艇	「RC」と黒字で記された緑色旗
プロテスト委員会艇	「JURY」と白字で記された赤色旗
テクニカル委員会艇	「MEASURER」と黒字で記された黄色旗
レスキュー艇	「RESCUE」と白字で記された緑色旗
メディア艇	「MEDIA」と黒字で記された白色旗
VIP艇	「VIP」と黒字で記された白色旗

スタート信号艇・・・セーリングクルーザー 30 f 船名「OCEAN」



運営艇

グループ	ホジション	タイプ	艇名
レース・マネジメント	スタート信号艇	Sailing Cruiser	Ocean
	スタート・ピン	Sailing Cruiser	Venture-N
	1マーク艇	Hard Boat	ラグーナ
	2マーク艇	Rib Boat	SWC
	3マーク艇	Hard Boat	ばあご
	4マーク艇	Hard Boat	ビアンカ
	フィニッシュ	Sailing Cruiser	小町
セーフティ・マネジメント	レスキュー1	Rib Boat	高師
	レスキヤー2 兼 メディア	Rib Boat	エイボン
	レスキュー3 兼 メジャラー	Rib Boat	クリスティーナ
	トーイング 兼 メディア	Rib Boat	ホミニス
プロテスト	Jury1	Rib Boat	恵風
	Jury2	Rib Boat	TG-WAVE
オルガニゼーション	VIP	Hard Boat	サムライ

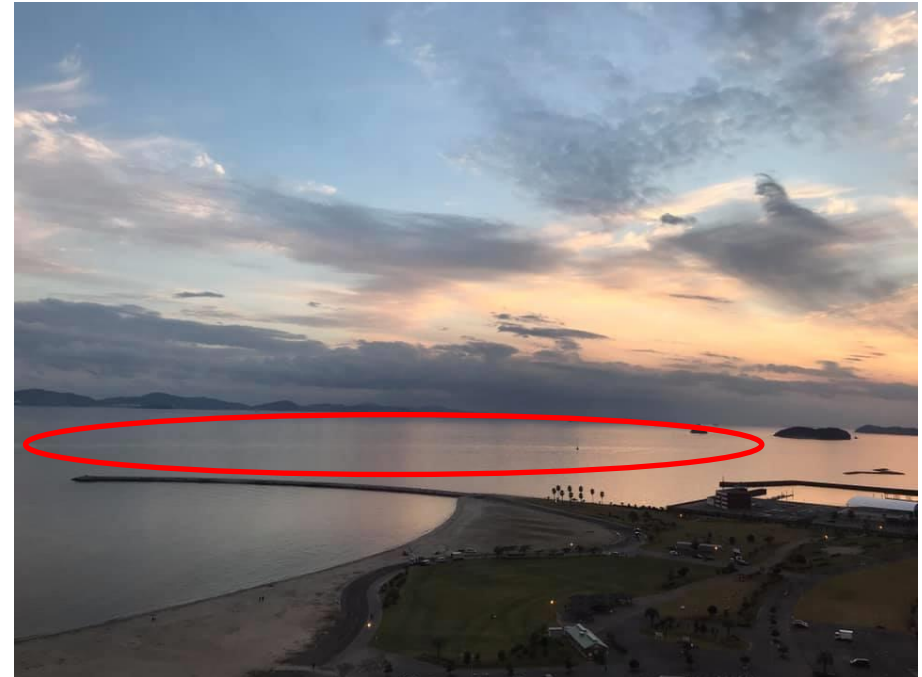
※9月1日（金）のみサムライをスタート・ピンとして使用します。



レースエリア

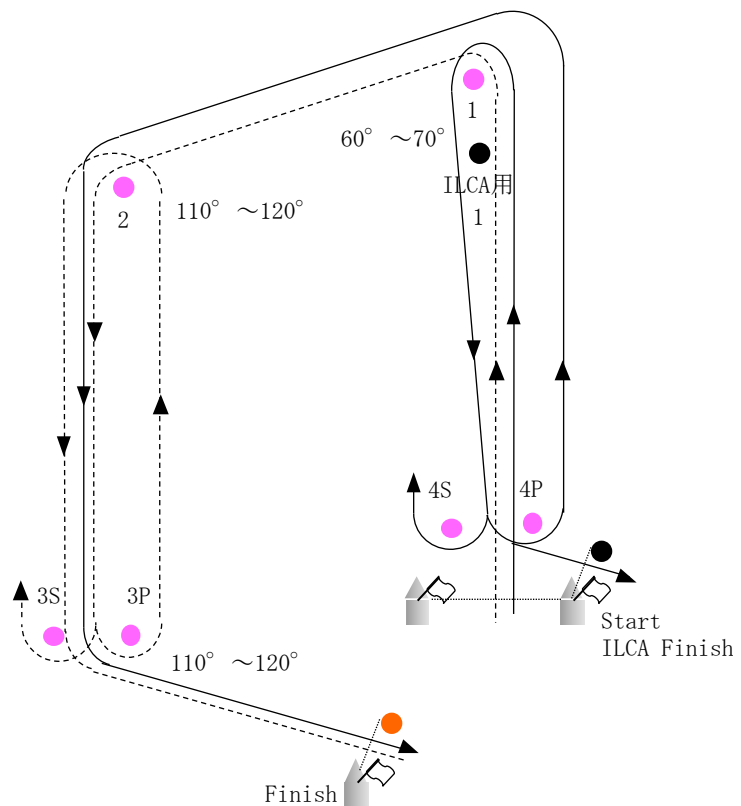


大会期間中、他の大会はありません



添付図B「コース図」

【添付図B】 コース図



470 【O2】

START→M1→M2→3P/3S→M2→3P→Finish

Snipe 【I2】

START→M1→4P/4S→M1→M2→3P→Finish

ILCA6 【LR2】

START→ILCA用M1→4P/4S→ILCA用M1
→4P→Finish

4S/4Pはスタート・ラインの風上 100
m～200mに設置される。



マークについて

	470,snipe 1-4 ILCA6 2	470,snipe変更	ILCA6 1	ILCA6変更	フィニッシュ 470,snipe	フィニッシュ ILCA6
形状	ピンク円錐	黄色円錐	白色円筒	オレンジ円錐	オレンジ円筒	白色円筒
写真						



O旗R旗



コース変更指示ボード





公示15（支援者・支援者艇）

1. 支援者艇は、次の条件を満たす場合のみ使用が認められる。
 - ①支援者艇は水上にいる間『大学名を記した表示』を両舷から視認できるように掲示しなければならない。これらは、『艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項』に合わせた大学名の記載とし、A3用紙サイズ以上の大きさで表示するものとする。また、これらは競技者により準備する。**忘れた場合は、大会にて1セット1,000円で作成を承ります。**
 - ②支援者艇は、主催者が指定するグループLINEに登録をするとともに毎日乗船する代表者の電話番号を登録しなければならない。
 - ③支援者艇は、常時グループLINEが確認できる状態にしていると共に登録した代表者の電話に出られるようにしなければならない。
 - ④主催団体が指定する西側棧橋以外に係留してはならない。
 - ⑤支援者艇が乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしのために一時的に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて所定の手続きを行い、使用料を支払わなければならない。その上で、乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。



指示20(支援者艇) 支援者艇が例年特に守られていない事項の説明

20 支援者艇

20.1 支援者がレース海面付近で乗船した艇は、指示20を適用する。ペナルティーは、乗船している支援者が関係するチームへ行うものとする。

過去の大会でOB・父兄が乗船したボートがレース海面に入りレースに支障きたしました。公示、指示20.6にも抵触するため、支援者にはよく伝えて下さい。

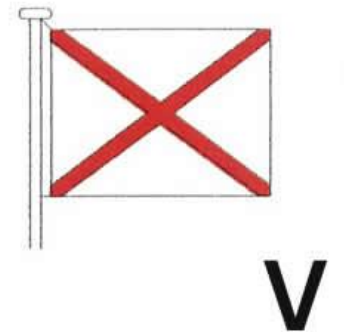
20.2 [NP][DP]競技者の安全な出艇を確保するため、支援者艇は、D旗掲揚前については出艇してよいが、最初のクラスのD旗掲揚から20分間は係留した棧橋から離岸してはならない。またこの時間帯は安全確保の活動を除きハーバー港内と港内からの出入口200m付近に待機してはいけない。

過去守らないチームがありました。今年も発生するようでしたら途中で棧橋閉鎖を考えています。



指示20(支援者艇) 緊急時のお願い

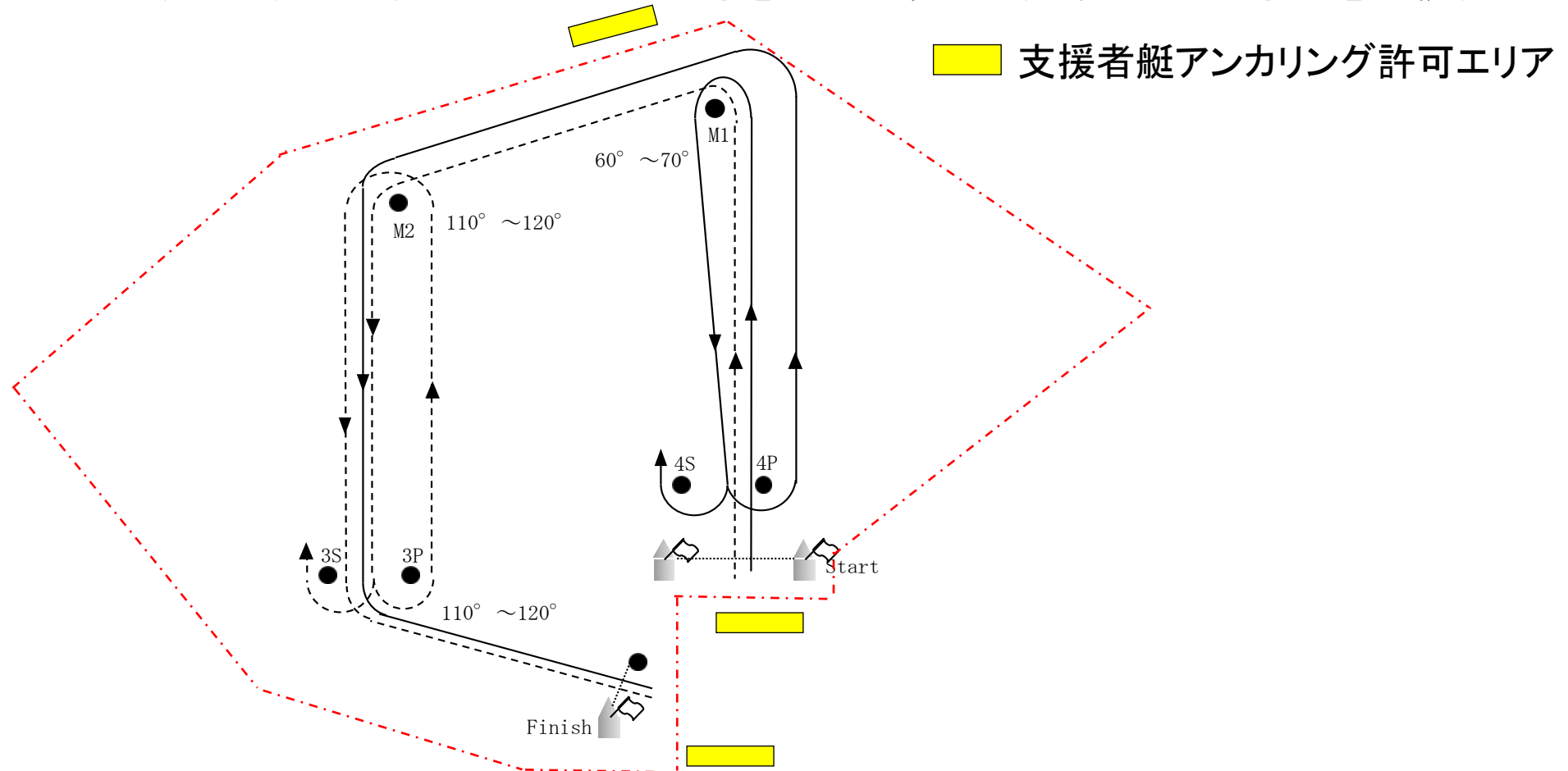
- 20.7 規則37を以下の様に変更をする。レース委員会が音響1声とともに、V旗を掲揚した場合、支援者艇はレースをしているエリアを含む全てのエリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。ただし、支援者艇は艇に対して救助活動を除いた援助を与えてはならない。この場合、指示20.4、指示20.5は適用されない。」
- 各大学の支援者艇は**自校の艇に対してのみ救助対応するのではなく、近くの要救助艇への対応**をお願いします。
 - 援助が必要な艇が出た場合は、**当該大学の支援者艇に対応をお願いします**ことがあります。
 - 選手が救助を求めるときは、運営艇に向けて大きく手を振って下さい。
 - **LINEは常時確認をお願いします。また、個別電話、グループ通話をする場合もありますので注意下さい。**
 - 支援者艇に乗船する代表者は、**必ず連絡が付く電話番号の登録**をお願いします。





指示20(支援者艇)

20.8[NP][DP]支援者艇は、故障時を除きアンカリングする場合は、【添付図B】に示す指定の許可エリアで行うこと。また、アンカーにブイ等を付ける場合は、それらに大学名を記載すること。





運営艇のトラブルについて

レース中などで選手が運営艇に接触した場合は、場合により選手の皆様に修理費を請求させていただきます。

接触したときは、陸上に帰ってきた後、大会窓口に申し出るようにお願いします。



公式掲示について

全日本学生ヨット連盟

2023年度 全日本学生ヨット個人選手権大会
2023年 全日本学生シングルハンドレガッタ

【公式掲示】

レース委員会 プロテスト委員会 テクニカル委員会 大会委員会

【各種提出】

出艇申告 帰着申告 リタイヤ報告 装備品交換申請

【レース状況】
TracTrac

【一般公示】

日にち	内容
	8月31日の競技説明は、ZOOMで実施する公示となっておりますが、当日は、開会式終了後、同会場でそのまま実施します。選手の皆さんは、こちらで参加いただいてもか

大会ホームページ
全日本学生ヨット連盟

公式掲示は、全日本学生ヨット連盟ホームページ内にある大会ページに準備しております。

大会期間中の使用書類（出艇申告など）リンクは、レース公示のほか、大会ホームページからも提出が可能です。

送付の際は、必ず送信したことを確認ください。場合によっては、失格となる場合があります。

※送信ミス無くするため、自分への同時配信機能等を利用ください。



レース委員会への質疑

質問は、説明会終了後19時までにリクエストシートでお願いします。
規則に関する口頭での質問には回答できません。



プロテスト委員会からのメッセージ



テクニカル委員会からの連絡

海上でのピックアップ計測について

テクニカル委員会は、競技者が安全かつ規則に従っているかを確認するために指示18に基づき、ピックアップ計測を行う場合があります。

ピックアップ計測を行う艇はテクニカル委員会内で選定を行います。

フィニッシュ・ライン付近で、「Measurer」と黒字で記された黄色旗を掲揚し待機しています。

メジャラ艇より指示された艇は、速やかに停止し、メジャラ艇の指示に従って下さい。



大会委員会からのメッセージ



ハーバー施設の利用について

大会レイアウト



レース艇保管
一部支援者艇含む

支援艇保管

ラック保管

大会オフィス

フラッグ掲揚

運営艇用棧橋

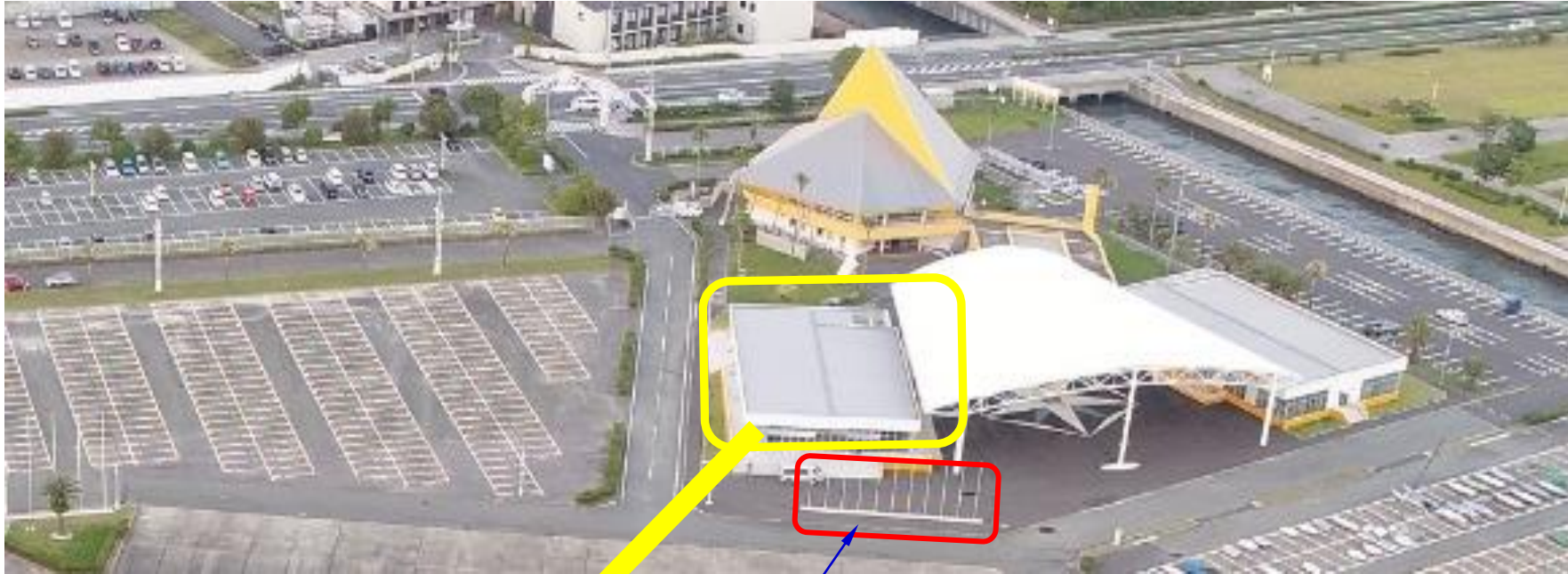
運営艇用棧橋

海陽オーナー艇用
棧橋

支援者艇用棧橋



大会レイアウト

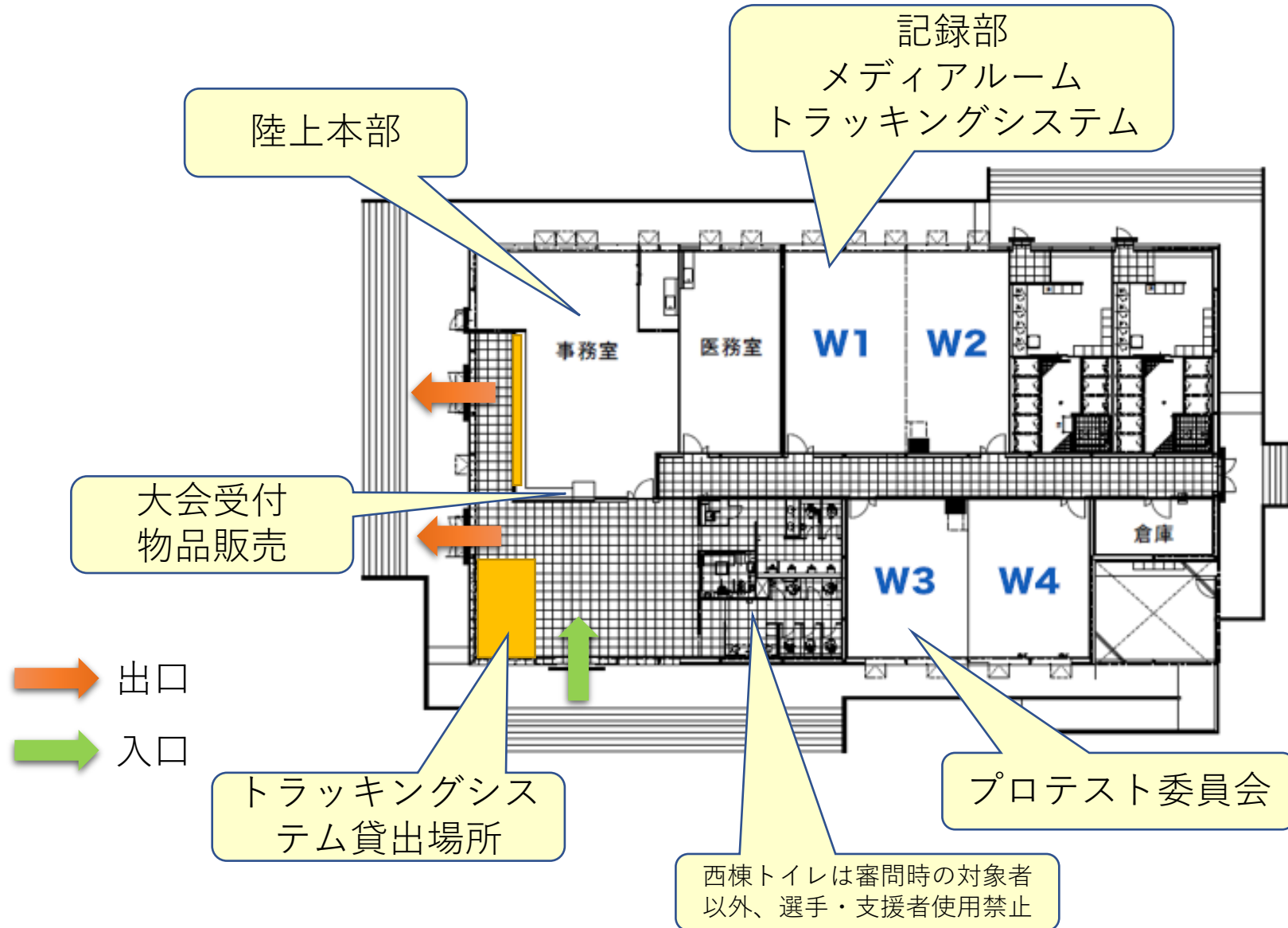


大会本部

フラッグ掲揚場所
大会本部前のポール

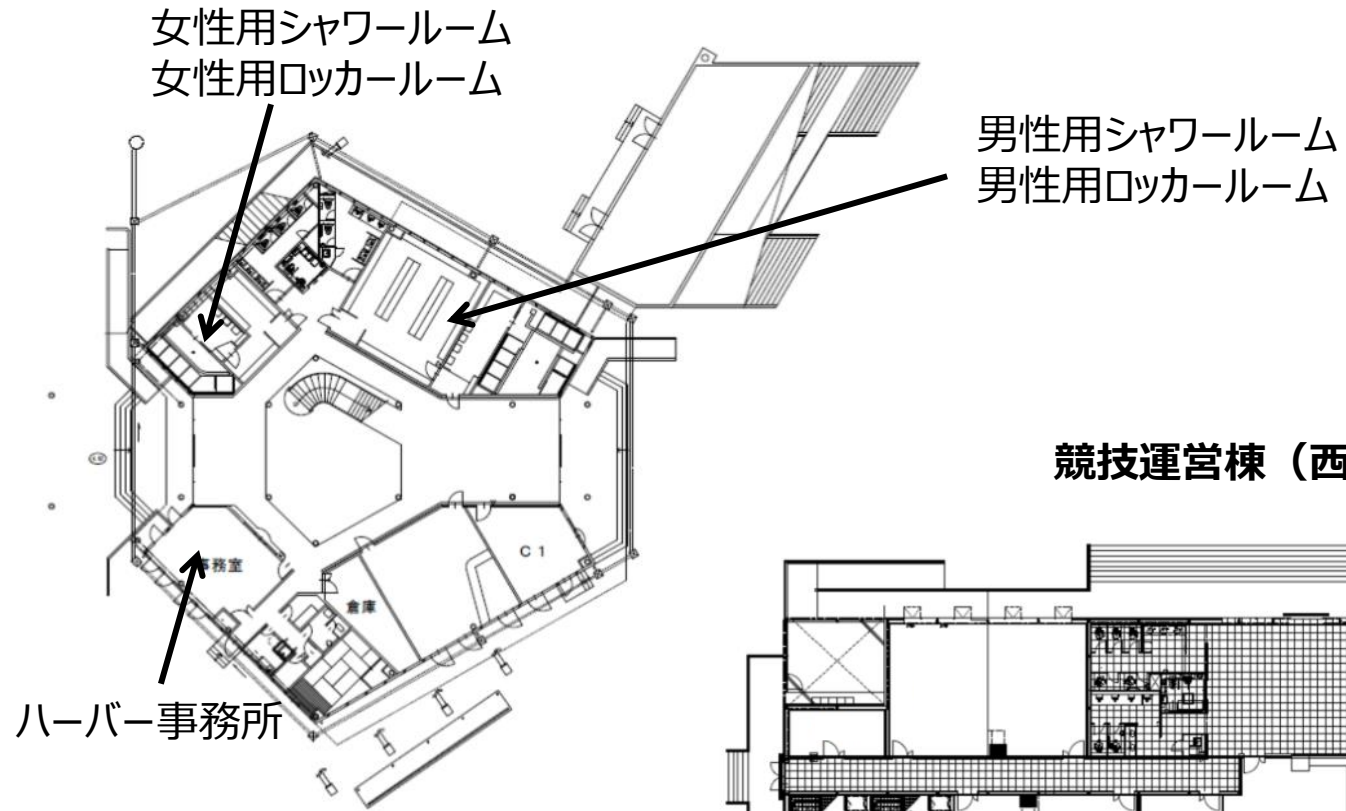


大会レイアウト（競技運営（西）棟）



ロッカールーム・シャワールーム

クラブハウス中央棟 1階



男性用シャワールーム

女性用シャワールーム

ハーバー営業時間

8月31日	(木)	8:00	~	19:00
9月1日	(金)	7:30	~	17:30
9月2日	(土)	7:30	~	18:00
9月3日	(日)	7:30	~	18:00

営業時間外は、ハーバー内に滞在することが出来ません。
17:30以降で、審問が終わっていない人は、
審問対象者のみ大会オフィス前で待機出来ます。

トイレの使用について

海陽ヨットハーバーのトイレは、全部で5か所あります。西棟のトイレは、大会運営と一般のお客様、審問時の選手優先とし、選手、支援者は、これ以外のトイレをなるべく分散して使用するようして下さい。



バースの配置について

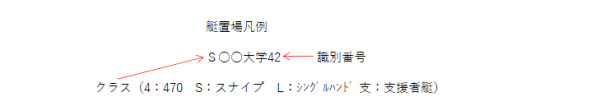
指定された場所へ艇を置くようにしてください。

開いているスペースは、選手同士で譲り合い荷物置き場として使用ください。大会に関係ない艇は置かないようにお願いします。

全日本学生ヨット個人選手権大会 西ビジターヤード区画表

J (40艇)		I (40艇)		H (40艇)		G (計45艇)		F (計49艇)		E (計50艇)	
40		40	S岡山42	40	S関学36	40	L鹿屋7	40	L東海海4	40	S日本22
39		39	S広島43	39	S関学37	39	S名城5	39	L名城5	41	S日本21
38		38	S広島44	38	S関学38	38	4高知47	38	L愛工3	42	S東京19
37		37	4広島42	37	S関学39	37	S高知48	37	4愛工61	43	S東都立20
36		36	4広島43	36	4関学36	36	4高知47	36	4愛工61	44	
35		35	4広島44	35	4関学37	35	S香川47	35	L愛工3	45	
34		34	4広島45	34	4関学38	34	4高知48	34	L愛工3	46	
33		33	S山口45	33	4関学39	33	4高知47	33	4愛工61	47	
32		32	S九州49	32	S関西40	32	4高知48	32	4愛工61	48	
31		31	4九州49	31	S関西41	31	4高知47	31	4愛工61	49	
30		30	4九州50	30	4関西40	30	4高知48	30	4愛工61	50	
29		29	S福岡52	29	4関西41	29	4高知47	29	4愛工61	51	
28		28	S福岡53	28	ラック置き場	28	4高知48	28	4愛工61	52	
27		27	S福岡54	27	S愛媛46	27	4高知47	27	4愛工61	53	
26		26	4福岡54	26	4愛媛46	26	4高知48	26	4愛工61	54	
25		25	4日経51	25	S香川47	25	4高知47	25	4愛工61	55	
24		24	4日経52	24	4日経51	24	4高知48	24	4愛工61	56	
23		23	4日経53	23	4日経52	23	4高知47	23	4愛工61		
22		22	S鹿屋50	22	4日経53	22	4高知48	22	4愛工61		
21		21	S鹿屋51	21	S鹿屋51	21	L鹿屋7	21	4愛工61		

- 注書事項
- 割当が無いバースは、使用不可（コロナウイルス感染予防対策で三密を避けるため）
 - 選手の間隔を一定に置くのは可。支援者艇を割り当てて可能性がある。
 - 三密を避けるため、レース艇の保管は、必ず指定されたところに保管すること。
 - ラック・支援者艇は、指定位置に保管すること。
 - 荷物置き場や艇と艇の間は、隣接する選手同士譲り合って使用をする。
- 凡例
- 北海道水域
 - 東北水域
 - 関東水域
 - 中部水域
 - 近北水域
 - 関西水域
 - 中国水域
 - 四国水域
 - 九州水域



38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
支援者艇置場																		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19

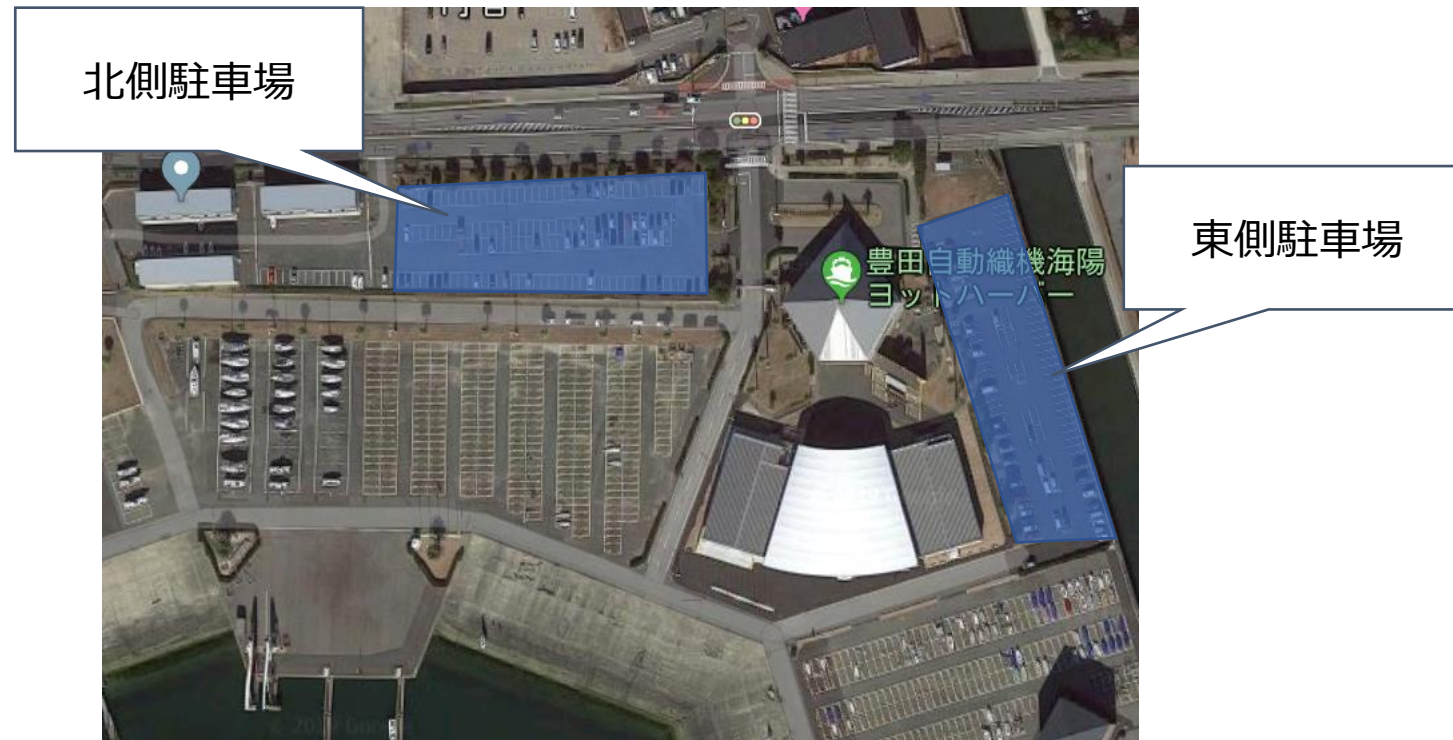
自家用車の駐車について

許可車を除き、自家用車は豊田自動織機海陽ヨットハーバー構内へは入れません。
北側または東側の駐車場を利用下さい。

駐車場は一般利用者也使用します。

駐車場内では枠内に駐車し、駐車以外の目的の占有など他の方の迷惑になるような行為は慎んでください。

トラックによる、複数の駐車枠にまたがったの駐停車もご遠慮下さい。



ハーバー内禁煙について

豊田自動織機海陽ヨットハーバー内は(携帯灰皿の使用を含み)指定場所以外では喫煙できません。

喫煙場所はクラブハウス中央棟南側入り口付近に設置されています。





SDGs に取り組みます！

この大会では、国連が提唱する国際社会全体の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するため、全ての参加者で実践していきたいと思えます。

➤ 海の豊かさを守ろう

ナイロンごみを減らすためペットボトルの分別回収を実施します。ペットボトルを綺麗に洗い、ラベルを剥がした後レガッタオフィス前の回収場所へ持参ください

➤ 陸の豊かさを守ろう

表彰式前に一斉にゴミ拾いを実施します。

当日放送にて案内をさせていただきますので皆様にご協力をお願いします。

➤ 気候変動に具体的な対策を

運営艇・支援者艇など全てのボートのアイドリングストップを行い、二酸化炭素の排出削減を行います。支援者艇などは決められた位置でアンカーリングすることが可能です。

➤ すべての人に健康と福祉を

ペットボトル飲料のフタを回収いたします。

回収されたフタは専門機関を通じて、発展途上国へのワクチン支援費用に活用されます。

レガッタオフィス前の回収場所へ持参ください。





最終日の艇・支援者艇の搬出について



最終日の搬出手順

- トラックの海陽ヨットハーバーへの到着は、10:30以降を指定下さい。
- 艇の積込みは抗議締切り時間以降から実施できます。それまでは、指定されたバースから艇を動かさないようにお願いします。
- 最終日、艇を洗った後は、スロープ・構内道路から速やかに指定されたバースに移動させこれらエリアでは作業をしないで下さい。支援者艇も指定エリアを除き同様です。作業をしているとトラックを入場させられないため全体的に遅れます。作業をしている場合は、強制的に撤去します。
- 来場したトラックは、時間までトラック待機場場で待機していただきます。トレーラーも同様に待機場場へ移動し時間まで待機下さい。
- 時間になったらトラック・トレーラーを待機場場から出しバース東側から順番に並べていきます。
- ハーバー内は反時計回りに一方通行で走行をお願いします。
- 艇の積み込みは、トラックの横3mの範囲で行いこれを超えての作業は避けて下さい。
- バースエリアには、トレーラー・自動車等を乗り入れないようにして下さい。

【支援者艇の搬出について】

- 支援者艇の搬出作業はクレーンより西側または艇庫前のエリアで行って下さい。
- ハーバークレーンを使つての支援者艇等の上架は、最終レーススタート後から全ての運営艇が上架し終わるまでの間は、利用不可とします。

同様の内容は、パンフレットにも記載しています。

最終日の注意事項について

トレーラーへのヨット積み込み、支援者艇積み込みは、構内道路での作業を避け、このエリアで作業を行う

トレーラーへのヨット積み込み、支援者艇積み込みは、構内道路での作業を避け、このエリアで作業を行う

このエリアは、トラックを2台～3台縦列に止めさせると共にできるだけ詰めて配置するようにする。

車両侵入禁止



赤色：トラック・トレーラー待機場場

黄色：ヨット積み込み場所

水色：運営艇・支援者艇上架・作業エリア

ピンク色：トラック

黄緑色：積み込み作業エリア

ヨットの積み込みエリアが、不足する場合は、コンテナヤード（トラック待機場場所）で実施します。

大会委員会への質疑

質問は、説明会終了後19時までにリクエストシートでお願いします。
規則に関する口頭での質問には回答できません。



みんなで大会を楽しみましょう！
全日本学生ヨット連盟・中部学生ヨット連盟